

令和4年（2022年）3月24日

子どもたちの心のケアについて

＜令和3年度（2021年度）第3回カウンセリングが必要な児童生徒 学校調査結果＞

1 方法

「心と体の振り返りシート」等を使ったアンケート結果や日常の子どもの健康観察などを通し、学校においてカウンセリングが必要と判断した児童生徒の数を集計するとともに、熊本地震についてはその児童生徒一人一人の状況を個人票にしてまとめたもの。

2 調査期間 令和4年（2022年）1月5日（水）
～令和4年（2022年）2月18日（金）

3 対象者 市立小中学校の全児童生徒 60,112人

4 調査の結果

(1) 熊本地震によるもの

カウンセリングが必要と判断した児童生徒数 74人（全体の約0.12%）

その内、新たにカウンセリングが必要と判断した児童生徒数 40人

	平成28年度						平成29年度		
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	1回目	2回目	3回目
実施日	5/13	6/3	7/7	9/21	12/1	2/23	6/15	11/9	2/22
必要数(人)	2,143	1,834	1,159	828	602	465	834	961	953
新規 (人)		1,215	563	396	233	236	519	542	434

	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
実施日	6/20	11/15	2/25	6/14	10/31	1/31	7/28	10/28	1/29
必要数(人)	799	837	874	860	446	425	249	205	171
新規 (人)	440	343	316	503	208	154	88	88	62

	令和3年度		
	1回目	2回目	3回目
実施日	6/30	11/2	2/18
必要数(人)	108	90	74
新規 (人)	40	32	40

【今回の調査結果の学年別内訳】

学年 (人)	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小学校	中1	中2	中3	中学校
必要数(人)	0	3	5	11	12	8	39	12	11	12	35
新規 (人)	0	1	1	3	2	1	8	11	9	12	32

(2) 新型コロナウイルス感染症によるもの

カウンセリングが必要と判断した児童生徒数 131人(全体の約0.22%)

その内、新たにカウンセリングが必要と判断した児童生徒数 88人

	令和2年度			令和3年度		
	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
実施日	7/28	10/28	1/29	6/30	11/2	2/18
必要数(人)	557	304	266	115	112	131
新規 (人)		168	158	71	64	88

【今回の調査結果の学年別内訳】

学年 (人)	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小学校	中1	中2	中3	中学校
必要数(人)	5	12	14	21	16	15	83	19	20	9	48
新規 (人)	5	7	8	13	12	9	54	14	13	7	34

(3) その他の要因によるもの

カウンセリングが必要と判断した児童生徒数 1,994人(全体の約3.32%)

その内、新たにカウンセリングが必要と判断した児童生徒数 896人

	令和2年度		令和3年度		
	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
実施日	10/28	1/29	6/30	11/2	2/18
必要数(人)	1,086	1,285	1,671	1,853	1,994
新規 (人)		624	970	970	896

【今回の調査結果の学年別内訳】

学年 (人)	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小学校	中1	中2	中3	中学校
必要数(人)	118	142	175	180	202	241	1,058	364	350	222	936
新規 (人)	69	74	112	79	98	103	535	151	129	81	361

※ (1)、(2)、(3) の合計

カウンセリングが必要と判断した児童生徒数 2,199人(全体の約3.66%)

その内、新たにカウンセリングが必要と判断した児童生徒数 1,024人

	令和2年度		令和3年度		
	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
実施日	10/28	1/29	6/30	11/2	2/18
必要数(人)	1,595	1,722	1,894	2,055	2,199
新規 (人)		844	1,081	1,066	1,024